

釧路湿原川レンジャー News 2008 Vol.1

平成20年度は124名が登録されました

釧路開発建設部では、平成12年度から釧路湿原の良好な河川環境づくりに地域住民が参加するボランティア活動「釧路湿原川レンジャー」を実施しています。

平成20年度の釧路湿原川レンジャーを新たに募集したところ、釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町に住むご家族・グループ合わせて124名が登録されました。その内、97名の方が昨年に引き続きの登録となり、その中の20名の方は、平成12年の発足以来、9年連続の登録となり、27名の方が今年度、初めて登録されました。

釧路湿原川レンジャーの主な活動は、日常生活において釧路湿原や河川環境について観察する活動と、釧路湿原をより深く理解するための学習会があります。

【募集新聞広告】 平成20年5月6日(火)北海道新聞(釧路版)・釧路新聞



活動の目的と内容

●活動の目的

釧路湿原の河川環境保全の取り組みの一環として、地域の人々が、
釧路湿原の良好な河川環境づくりに貢献することを目的としています。

●觀察活動

日常生活において釧路湿原や河川環境について観察し、その結果を報告していただくのが川レンジャーの主な活動です。

報告する内容は例えば次のようなことです。

- ・そこには従来無かった植物がある、今までいた動物がいなくなっている。
 - ・河岸が崩れていた、中州が広がっていた。
 - ・タンチョウ怪鳥などの異常が見られる。近く人がいる。

●學習活動

剝離湿原や河川環境などについて、より深く理解するための学習会を年に4回程度行います。

平成20年度
釧路湿原
川レンジャー
募集要項

釧路湿原の河川環境保全の取り組みの一環として、
釧路湿原の良好な河川環境づくりに貢献することを
目的とするものです。

主な観察活動

日常生活において釧路湿原や河川環境について観察し、その内容
を連絡していただくのが釧路湿原川レンジャーの主要な活動です。
例えばここには、こんな鳥がいた! いままであそこにはいた動物が
いなくなった! 「ミツの不法投棄を発見した!」など。

主な学習活動

川レンジャー

して、地域の人々が、
ることを目的としています。

て観察し、その結果を
動です。

た動物がいなくなった。

づく人がいる。

平成19年度の学習会の内容

観察会

湿地苔生

釧路湿原

水質調査

水質調査

自然事業 (特定地・釧川橋元)
の復旧作業

雪道整備

平成20年度「釧路湿原川レンジャー」認証式が行われました

20年度は124名が登録

平成20年度「釧路湿原川レンジャー」の認証式が5月20日、32名が出席して釧路地方合同庁舎会議室で行われ、平成20年度の釧路湿原川レンジャー活動が新たに始まりました。

今年度の登録者は124名で、任期の平成21年3月31日までの間、日常生活の中で、釧路湿原や釧路川の自然環境についての観察活動を行うとともに、季節ごとに学習活動を行います。

認証式では、釧路開発建設部赤代啓司次長から出席者の一人ひとりに認定証が渡されました。赤代次長の挨拶の中で、平成19年度の活動報告として「ゴミの不法投棄や釧路川周辺状況など15件の報告を頂き、河川管理業務の効率化などに役立たせていただきました。学習会活動は4回行われ93名の方が参加されました。中でも第2回の学習会では釧路川の水質調査を実施し、貴重なデータを測定することが出来ました。水質調査は今後も継続し、釧路湿原川レンジャーの活動を通して貴重な湿原の環境保全に努めていきたい。」と、お話しがありました。

その後、事務局から川レンジャーの活動内容や、今年度の予定などの説明があり、改めて川レンジャーの役割について再認識しました。

なお、認証式の様子は、当日、午後6時から放送された、NHK「まるごとニュース北海道」において、取り上げられました。



夫婦そろって認定証を受取る山田さん



挨拶をする赤代次長

講演「釧路湿原の動物たち」を受講

認証式終了後、日本野鳥の会釧路支部橋本正雄副支部長から「釧路湿原の動物たち」と題して講演があり、「釧路湿原には、名前が判明している分だけで動物が2000種、植物が700種が生息しています。氷河期からの遺存種が、冷涼な気候のために生き残った」と、その希少性を解りやすく解説していただきました。



また、キタサンショウウオなど釧路湿原で見られる貴重な生物を写真を使っての紹介や鳥の鳴き声が紹介されました。更に、「温根内から北斗へかけての散策路周辺にも、時々、ヒグマが出没するので注意が必要です」と、警告がありました。



講演する橋本副支部長



認証式の後に記念写真

……クマと遭遇しないために……

1. クマに自分の存在を知らせてください。
ラジオ・笛・鈴などで音を出して行動してください。
 2. 見通しのよい明るい場所で行動してください。
 3. 早朝や夕方の散策は特に注意してください。
 4. クマの糞、足跡などを見つけたらすぐに引き返すこと。